

2021 年 4 月 8 日

糖尿病内分泌代謝内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「TG/HDLc 比の代謝学的意義の検討」への協力をお願い

糖尿病代謝内科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2009 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 1 日の間に、当科において、糖負荷試験を受けられた方

研究期間：倫理審査委員会承認日～2023 年 3 月 31 日

研究目的・方法：2 型糖尿病治療において、インスリン分泌能、インスリン感受性の評価は、薬剤選択において大変重要な情報です。インスリン分泌能に関しては、インスリン分泌指数や C ペプチドインデックスが汎用されています。他方、インスリン抵抗性の指標として、HOMA-R が知られていますが、大規模研究で用いる指標であり、個々人のインスリン感受性の変化を捉える指標には用いるべきでないとされます。ブドウ糖負荷試験で計算される松田指数や OGIS はインスリン抵抗性の正確な指標であるグルコースクランプ試験と高い相関を示しますが、糖負荷試験での煩雑な採血のため、一般に使用しにくい欠点があります。そのため、松田指数や OGIS を予測できる臨床血液マーカーの同定を試みます。

研究に用いる試料・情報の種類：

カルテに記載されている以下の情報を使用します。

- 年齢、性別
- 身長、体重より計算した BMI
- 75g 糖負荷試験での血糖、血中インスリン濃度（0 分、30 分、60 分、90 分、120 分）
- 上記の採血で得られた血糖、血中インスリンから計算した松田指数、OGIS、インスリン分泌指数、糖尿病病型（糖尿病診断基準に基づく正常型(NGT)、境界型(IGT)、糖尿病型(DM)の 3 グループに分類）
- 空腹時血中 TG、空腹時血中 HDLc から計算した TG/HDLc 比
- BIA 法(Inbody)を用いた体組成の値（体脂肪率、体脂肪量、筋肉量、四肢及び体幹筋量）
- 脂質異常症内服薬の有無
- 参考項目として、内服薬、HbA1c、Cre、握力の数値（サルコペニアの診断のため）

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系

研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 糖尿病内分泌代謝内科・生体支援センター

電話番号 058 - 230 - 6377

氏名：飯塚勝美

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 糖尿病内分泌代謝内科

氏名：矢部大介